

予算決算委員会民生福祉分科会会議記録

1. 日 時	令和4年6月16日 14:20~15:01
2. 場 所	401・402 会議室
3. 出席議員	上田英樹座長、園田依子副座長、前田えり子委員、河南克典委員、小島政行委員
9. 会議に付した事件 議案第40号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）	
10. 議事の経過 <div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>日程第1 議案第40号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）</p> </div> <p>■保健福祉部（健康担当） 健康課より補正予算書に基づき説明</p> <p style="text-align: center;">【主な質疑応答】</p> <p>園田副座長 予防費について、今の60歳以上の方々の新型コロナワクチンの接種状況を見させていただくと、1回目、2回目、3回目へと接種率がちょっとずつ減ってきているような状況ですが、担当課として、どのようにこれからの接種を実施されていくのかお伺い出来たらと思います。</p> <p>保健福祉部（健康） 4回目接種は重症化予防に重点を置いていますので、60歳以上の方にはできるだけ受けていただく必要があります。また、この接種率も95%から下がっていると言われましたが、その方のその時の状況によっては入院されていたり、副反応があったので少し様子を見てるといふ方もあります。その辺りは、今の接種体制については、かかりつけ医を中心に行っておりますので、先生方からもお声かけしていただきながら、できるだけ重症化予防を達成していけるように、これからも取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>園田副座長 今回、4回目を接種される方が1番心配されているのは、やっぱり副反応を心配されていて、ちょっと躊躇されることが多いかとは思いますが、それを市がどうこうっていうのはなかなか難しいところがあるかもしれませんが、それをどう推進していくのか、私自身も4回目をどうしようかなって思っているんですが、接種に対して、安心できるというか、必要性っていうのを周知と</p>	

どうか、何かできることがあるのかお伺いします。

保健福祉部（健康） 私たちもその辺りのことについて、どんな工夫ができるのか考えているところですが、ひとつは、60歳以上の方には3回目接種から5か月が経って、皆さんへ一斉に通知をさせていただきます。これまでからもそうでしたが、他の自治体では通知が簡単な案内文になっているところを、丹波篠山市は丁寧にといいますか、必要性などもしっかりと入れて、市長メッセージも付けたりしながら、感染状況が一定落ちついているように見えますけれども、今後も皆さんがお元気で暮らしていただくために重症化予防が必要ですというような周知も入れることなどを考えています。

それからコールセンターのほうにも、副反応の問合せはたくさんかかってきております。そういった不安の高い方に関しては、丁寧にお答えさせていただいて、地道なことですが、これからもそういった対応をしていきたいと思っております。

また、いきいき塾やいきいき倶楽部などの地域支援のほうも、少しずつ本来の保健活動を取り戻していかないとはいけませんので、様々な機会をとらえまして、地域の方にワクチン接種の必要性をしっかりと周知していきたいと考えております。

小島委員

資料のパンフレットの中で、裏面に申請の締切りが書いてありますが、例えば、3回目の接種をされていない方が、この締切りの後に3回目の接種をされた場合に、その方へ4回目の通知は行くのでしょうか。

保健福祉部（健康） まだ3回目の接種が済んでいない方は、まず、3回目接種をしていただいて、それから4回目の申請ということになります。

この案内チラシは4回目接種券の発行についての御案内となっております。もう既に昨年12月から今年2月の間に3回目の接種が終わっていらっしゃる基礎疾患を有する方とか、重症化リスクの高い方に対しては4回目接種の申請をしていただかないといけないのでチラシを作成し周知させていただきました。

小島委員

このチラシは、まだ2回目の接種しか終わっていない方へも、4回目を接種してくださいという案内でしょうか。

保健福祉部（健康） 3回目をまだ打ってないけれども4回目の案内が行くのかという趣旨のご質問かと思いますが、3回目まで接種した60歳以上の方には全てダイレクトメールで接種券が行くことになっています。このチラシをみて、3回目の接種がまだの方が4回目の接種を申込みする必要はありません。3回目を打たないと4回目を打てな

いということになります。そして4回目は、60歳以上か基礎疾患を有する方だけになります。ダイレクトメールは6か月が経ったあたりで接種券を届けさせていただいています。4回目は、60歳以上の方にはダイレクトに行きますけれども、59歳以下の基礎疾患の方にはダイレクトメールが届かないことになりましたので、このチラシを見て申請をしていただくということになります。

河南委員

2,000万円の医療機関支援金ですけれども、これは医師会へ渡すのか、それとも、各医療機関へ個々に渡すのか。この辺はどうなんでしょう。

保健福祉部（健康）

支援金の助成の方法についてですが、まずこの支援金は、市医師会のほうに補助金として交付するというようにしております。現在の3回目接種が9月末までと言われておりますが、4回目接種が5月末から改正されて始まったということで、丹波篠山市では7月から4回目接種をさせていただきます。例えば、9月末に3回目接種を終わられた方が、4回目接種を希望された場合は、5か月後の2月に受けていただくということになりますので、その間は、医療機関のほうでも接種をお世話にならないといけません。

また、積算についてもご説明します。1医療機関当たり、8か月分の80万円ということで考えております。25の医療機関にお世話になりますので2,000万円となります。その80万円の根拠ですけれども、人件費としまして、1時間当たりの単価を1,500円と計算し、それを半日分の4時間と考えて、月15日間ということで、8か月を掛けさせていただいた72万円が1医療機関に当たりの人件費です。それから感染症の対策として、アルコール綿とか防護服であるとか、医療廃棄物の処理をしていただくというようなこともありますので、1医療機関あたり8万円と考えておまして、先ほど申しました72万円とプラスして合計80万円としています。

上田座長

いままでの3回目の接種についても、医療機関への支援金をされていますが、今回も同じ考え方で支援をされるのでしょうか。

また、支援金の支払いは、大体いつごろを予定されているのか。そして、実際には、医療機関によって接種をされる方の多い少ないがあると思うんですけど、予算は先ほどの説明の考え方ですが、実際は、実績に基づいて3回目の支援金も払われていたのかお聞きします。

保健福祉部（健康）

支援金につきましては、前回と同じ考え方で支援を行います。また、医療機関によって接種者数の多いところ、少ないところがありますので、医師会のほうでお考えをいただいて、各医療機関

へ補助ということになるかと思えます。

保健福祉部（健康） 支援金の支払いにつきましては、補正予算を認めていただきましたら、すぐに申請を上げていただいて、交付決定して支払いという形で、できるだけ早く進めたいと思っております。

■保健福祉部

社会福祉課より補正予算書に基づき説明

【主な質疑応答】

前田委員 子どもの食の応援事業について、コロナ禍がいつまで続くのかなという中で、なかなか子どもへの支援、応援することも大変かと思いますが、今はどういう状況でしょうか。

保健福祉部 昨年度の実績としまして、令和3年度に実施いただいた団体が4団体ございます。その中で対象者数は、延べ人数で年間約4,800人でした。今回はそれぞれの団体への補助金を30万円拡充するという事で、1団体で1か月当たり50食から55食の増を見込んでおりまして、それにより約2,000食が、さらに子どもたちに行き渡ると見込んでおります。現在もこの事業については好評といえますか、お弁当を取りに来られる方も多いので、継続的にこの事業を続けていければと考えております。

前田委員 昨年度は4団体で、今回は5団体分ということで、増えているということですね。なんだかますます物価高とか深刻になってきていると思えます。

園田副座長 今、こういうふうな取組をさせていただいているということは本当に大切なことだと思います。1団体につき30万円の増ということですが、これは一律に30万円の支援をするのでしょうか。やっぱり団体によって人数の違いがあるのではないかと思うんですけど、どのような支援になるのでしょうか。

保健福祉部 現行の補助金交付要綱では、食事の提供または宅配する団体については、1団体50万円が上限で、それに加えて、子どもの居場所を提供する団体については1団体の上限を70万円ということにしております。それを今回の補正予算でそれぞれ30万円を増額しまして、80万円と100万円を上限にしようとするものですが、おっしゃるように、事業実施団体につきましては、小さなグループもあります。地域で頑張っているところもあります。小さいグループに

については、対象児童数やボランティアの人数などが限られており、なかなか80万円も使えない場合があると思いますので、交付申請が30万円、40万円という形になるかもしれません。予算上は5団体として積算していますが、全体の補助金をトータルで考えて、少し小さな団体も複数加えた形で支援をしていきたいと考えております。

上田座長

子どもの食の応援事業を利用された方の支出はなかったのでしょうか。全て補助金等の予算で賄われるということでしょうか。

保健福祉部

子どもの食の応援事業補助金につきましては、食事を無料または安価で提供すると要綱で定めており、団体によっては、無料で食事を提供されている団体もありますし、100円から200円を徴収されている団体もあります。補助金を有効に活用いただき運営をいただいております。

上田座長

そうすると、補助金については、先ほど園田副座長が言われたように、団体によって、食事の提供の量によって変わるし、また、収入があるところ、ないところがあるけれども、それは実績報告によって、それぞれの補助金額が最終的に決定されるという考え方でよろしいか。

保健福祉部

そのとおりです。

上田座長

去年は4団体、令和4年度は5団体を実施していただいているということでしょうか。

保健福祉部

今のところ申請をいただいているのは、上限100万円の補助金を見込んでおります2団体になっております。この事業は4月から3月までの事業になりますが、昨年度も夏休みなどの長期休業期間に合わせて、補助金の交付申請をいただき、食事の提供や宅配をされた団体もあります。今年度も同様に、事業の実施意向も伺っており、これから6月、7月にかけて交付申請いただくことになっています。

■議員間討議

議案第40号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）

－ 意見等なし －

－ 部長・市長への質問なし －

■意向確認

議案第40号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）

— 全員賛成 —

上田座長 以上で、本日の審査はすべて終了しました。議案審査に係る審査報告については、座長に一任いただきたいと思います。これにご異議ありませんか。

— 異議なし —

上田座長 異議なしと認めます。
それでは、本日の執行部との質疑応答及び意向確認をふまえたかたちで、審査報告を行いたいと思います。

閉会宣告

上田座長 これをもちまして、本日予定しておりましたすべての審査が終了しました。それでは、閉会にあたりまして園田副座長よりごあいさつをお願いいたします。

園田副座長 挨拶

散会